

講習の名称：地域の文化資源（妖怪伝承等）を活用した教科横断型の学習プログラムの構築
担当講師：市川 寛也（教育学部准教授）
講習開講日：令和2年12月13日（日）
時間数：6時間

主な受講対象者：小学校教諭，美術（科）を担当する中学校・高等学校教諭

キーワード：地域，想像力，物語，社会に開かれた教育課程

講習の概要：

地域社会に開かれた教育実践の題材として「妖怪」を取り上げます。図画工作科や美術科での教育実践を念頭に置いた内容になっていますが，地域の物語としての側面（国語科的アプローチ）や地域の地理や歴史としての側面（社会科的アプローチ）も踏まえ，教科横断型の地域学習のあり方について考えるきっかけとなることを目的としています。

講習の展開：

- 第1時限 「妖怪」とは何か（授業で取り上げるポイント）
- 第2時限 具体的な授業実践への応用可能性
- 第3時限 妖怪採集ワークショップ
- 第4時限 グループ討議・発表

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

受講者各位の学校が所在する市町村に残る民間伝承（伝説，昔話等）について事前に文献等で調査を行い，該当箇所のコピー等を持参してください。

授業の形式： 講義，ワークショップおよびグループ討議・発表

履修認定試験： 授業時間内に作成する記述式の演習シート（ワークシート）によって履修認定を行う

テキスト・参考文献：

◎文部科学省ホームページから，ご自分の学校種の学習指導要領をプリントしてお持ちください。